

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 4 (2022) 年 8 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日



今、求められる診療情報管理の不易流行

堀見 忠司

第 48 回日本診療情報管理学会学術大会 学術大会長
高知医療センター 名誉院長
高知高須病院 名誉院長

第 48 回日本診療情報管理学会学術大会が、2022 年 9 月 8 日 (木) ~9 日 (金) に高知市内の県民文化ホールと高知会館で、通常の対面により開催予定です。テーマは『今、求められる診療情報管理の不易流行』ですが、不易流行とは、日本人の魂である松尾芭蕉の俳諧の理念で「いつまでも変化しない伝統を踏まえつつ、本質的な不易を忘れない中に、新しく変化を重ねている流行を取り入れていくこと」であり、本会の今の立ち位置を痛感するところです。

また学会開催の四国は、有名な八十八か所の遍路みちや西日本一高い石鎚山や剣山などの四国山脈、瀬戸内海の美しい島々や渦潮、徳島の祖谷のかずら橋、香川の栗林公園、愛媛の道後温泉、また江戸時代から伝わる高知の日曜市や木曜市、桂浜等々、沢山の観光名所があります。本学会のロゴマークは、四国 4 県と太平洋に浮かぶ美しい高知の達磨夕日を模し、さらに未だに新幹線が通らない国内唯一の四国の島に新幹線の導入も願って、四国あげての 19 年ぶりの高知の学会となりました。

一方、我が国では、第二次世界大戦直後のベビーブームに生まれた団塊の世代が、2025 年には後期高齢者の 75 歳になり、その後数年間は産業・経済・教育を支える人が少なくなり、社会は大きな転換期に入ります。すなわち 2025 年から数年間は、社会生活のバランス崩壊が予想されます。この高齢社会は当然、次の段階の人の死に継続され、人の死に関する大きな命題が提供されます。また、このような社会情勢の大きな変化の中で医療は、介護、在宅医療、認知症や感染症などの新たな医療に引き継がれ、診療情報管理士の重要性がますます増すものとなります。

ご存知の通り、日本診療情報管理学会は 1975 年に「診療情報管理士」を主たる会員とし、診療情報管理の発展と診療情報学の確立に取り組む学会として発足しました。診療情報管理士は、医療機関における患者の診療情報などを国際統計分類等に基づいて収集・管理、データベースを抽出・加工・分析し、様々なニーズに適した情報を提供する病院経営において、なくてはならない専門職種です。その構成は医療関係の事務職、医師、看護師、薬剤師やその他多くの職種からなり、認定者は 2022 年現在 43,925 名で、今回の学会にも多数の参加者が期待されます。

皆様方には、本会で新たな多くの診療情報管理学の知識を習得され、その後はじっくりと四国を楽しめることを心より祈念致します。

**※第 48 回日本診療情報管理学会学術大会は開催方法を変更することになりました。
詳細は大会 Web サイトをご覧ください。**

